

教科	家庭	科目	服飾文化	単位数	2 単位	学年	2 年	コース	アカデミー
使用教科書		服飾文化(教育図書)		使用副教材等		なし			

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾の変遷と文化、着装などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ・服飾文化に関する課題を発見し、服飾文化の伝承と想像を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ・豊かな衣生活の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾の変遷と文化、着装について理解する ・被服製作に必要な知識や技術を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・被服製作に対し、思考・判断し、表現することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を立て、実施し取り組みを振り返る ・被服製作に真摯に取り組む姿勢を身に付ける
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ①服飾の変遷と文化、着装について理解している ②被服製作に必要な知識や技術を理解している 	<ul style="list-style-type: none"> ③被服製作に対し、自分と関連付けて思考・判断し、表現できる 	<ul style="list-style-type: none"> ④計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる ⑤被服製作に真摯に取り組み、自主的な作業や準備ができる

担当者からのメッセージ	<p>この科目は、日本や世界の服飾の変遷と文化の多様性、着装などに関する知識や技術を活用し、服飾文化の伝承と創造に寄与することができる資質・能力を育むことをねらいとしています。</p> <p>服飾を通して、世界の文化の多様性について理解を深め、衣服製作を通して知識と技術を身に付け、自らの衣服について関心を高め、豊かな衣生活の実現を目指していけるよう自ら学び創造していける力を身に付けていきます。</p>
-------------	--

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4	第1章 「服飾文化」を学ぶ目的と意義 第1節 服飾文化を学ぶ ・服飾文化の歴史と文化の多様性、多様な服飾の表現の仕方などについて理解する ・服飾文化の発展について、社会的・文化的背景から課題を見出し、その解決に向けて考察する ・服飾の変遷と文化について自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む	評価方法①【記述式テスト】
	5	第4章 着ることと装うこと 第3節 和服の種類と着装 ・日本の民族衣装である和服の製作をする ・女物単衣長着の製作 ① 採寸 ② 裁断 ③ しるし付け ④ 袖縫い ⑤ 背縫い ⑥ 肩当て ⑦ いしき当てつけ ⑧ おくみつけ (8) 衿下の三つ折りぐけしておく ⑨ 衿つけ(かけえりをつけておく) ⑩ 脇縫い ⑪ 裾くけ ⑫ 袖つけ ⑬ むし留め ⑭ 仕上げ ・カゴバック製作 ① 裁断 ② 袋を縫う ③ 籠に袋を縫いつける ④ ひもを通す ⑤ 仕上げ ・着付け 7分間で着付け、脱いでたたむ 帯(作り帯不可)、腰ひも×2、肌着等 持参	評価方法①②【名称記述テスト、着付けテスト、浴衣提出、カゴバック提出】 評価方法③【被服材料の選択】 評価方法④【被服製作過程の記録・感想及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】 夏休み課題 評価方法①【作品提出】 評価方法③【被服材料の選択】
2	9	第2節 洋服の種類と着装 ・ショートパンツ製作 ① 採寸 ② 型紙づくり ③ 裁断・しるしつけ ④ ポケットつけ ⑤ 股下、脇 ⑥ 裾の三つ折りミシン ⑦ また上(二度縫い) ⑧ ウエスト(端ミシン、ステッチ、中心) ⑨ ゴム通し ⑩ 仕上げ ・試着 ショートパンツに合う服を持参 ・着付けの復習	評価方法①②【名称・道具記述テスト、作品提出】 評価方法③【被服材料の選択、試着】 評価方法④【被服製作過程の記録及び作業】 評価方法⑤【被服製作過程に対する自主的な作業】
	10		
3	11		
	12		
3	1		
	2		
3	3		
	3		